

株式会社 松屋 2022年7月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	31.0	19.5
② 銀座店	33.6	27.5
③ 浅草店	3.1	7.4

① 銀座本店	: 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
② 銀座店	: 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
③ 浅草店	: 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位:%)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
銀座本店	-5.7	6.1	5.4	11.9	19.7	26.0	12.3	11.4	32.5	95.0	38.4	31.0
松屋銀座	-8.5	6.6	6.2	13.4	20.5	27.4	12.8	10.8	34.4	103.6	42.8	33.6
松屋浅草	26.5	0.0	-5.5	-1.7	12.3	12.2	5.5	17.6	11.1	29.6	2.9	3.1

3. 店舗別商況

銀座店	7月の銀座店の売上高は、前年に対して約3割強の伸びを示しました。化粧品は前年比約38%増、ラグジュアリーブランドは同約51%増、時計も同約78%増と、銀座店の強みとなるカテゴリーが大幅に売上を伸ばし館全体を牽引しました。また、クリアランスセールと並行し、サングラス、日傘等の婦人雑貨が前年比約3割増となる等、厳しい暑さを反映した実需プロパー商材も健闘しました。これらの堅調な売上により、免税を除く国内のお客様の売上は新型コロナウイルス感染症の拡大前となる2019年7月対比でも約17%増の伸びを示しております(インバウンド売上については、今後の入国緩和等により徐々に回復する見通し)。なお、新型コロナウイルスの再拡大において、現段階では入店客数等に大きな影響はありません(入店客数前年対比約3割増)。
-----	--

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	22.2	22.2
婦人服・洋品	12.9	13.1
子供服・洋品	38.4	38.4
呉服寝具他	69.4	74.7
衣料品計	18.2	18.7
身廻り品	43.3	43.7
雑貨	70.5	75.3
家具	11.8	12.0
家電	61.5	61.5
家庭用品	-8.3	-8.1
家庭用品計	9.1	9.3
食料品	0.4	1.9
食堂・喫茶	69.5	69.3
サービス、その他	63.4	64.9
合計	31.0	33.6

※「2022年8月上報告」は、9/1(木)15時の開示を予定しています。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレーションコミュニケーション課
TEL(03)3248-8311 / Mobile 070-4547-7555